



GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 244

2017/03/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

GREEN COLUMN

01. 美幌峠のダケカンバ

02. 初代戸長 野崎政長



今月の一枚



「冬的美幌峠」

表紙写真・文／鬼丸和幸

屈斜路湖外輪山の、急峻な斜面の上に位置している美幌峠。春から秋にかけ、色とりどりの花を咲かせる草花たちは、今は雪の下で眠っています。

冬は猛烈な強風にさらされるため、積もった雪が吹き飛ばされ、山の斜面は凍り付きます。夕刻、鏡のようなツルツルした斜面に、オレンジ色の夕日が差し込むと、目を開けていられないほど光が反射して、美しい光景となりました。

Event. 今月のイベント

企画展「平成 28 年度 冬季作品展」 ～3月5日（日）

企画展「相生線で Go!」 3月25日（土）～7月2日（日）

プチ工房「どんぐりで遊ぼう」 3月9日（木）,16日（木）

博物館講座「私たちのふるさと情報」 3月25日（土）

モノ作り講座「紙すきをしよう」 3月26日（日）

Information. 参加者募集

プチ工房 「どんぐりで遊ぼう」

● 3/9（木）, 16（木）10:00 - 12:00, 14:00 - 16:00 自由に入室。作品ができたなら終了 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費（100 円） ●町田善康（美幌博物館） ●申込み不要。小学校 3 年生以下は保護者の同伴が必要。

博物館講座「私たちのふるさと情報」

【講演会】 ● 3/25（土）9:30-12:00 ●美幌博物館 2F 視聴覚室 ●無料 ●種石悠氏（北方民族博物館）, 美幌高等学校生徒, 美幌博物館学芸員 ●申込み不要

モノ作り講座 「紙すきをしよう」

● 3/26（日）【午前の部】10:00 - 12:00, 【午後の部】14:00 - 16:00 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費（100 円） ●八重柏誠（美幌博物館） ●美幌博物館へ電話申込み（3/1 - 3/22）。小学校 3 年生以下は保護者の同伴が必要、各回定員 16 名で締切。

ご自宅に古い写真ありませんか？

博物館では展示会で使用するため、明治～昭和に美幌町内の様子を写したなつかしい写真や映像を探しています。寄贈もしくは複写させていただける方は、博物館までお電話ください。寄贈・複写させていただいた方には、1 名様が無料入館できる「招待券」を差し上げます。

今月の休館日

6 日, 13 日
21 日, 27 日

〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用, 持ち物 ●講師 ●申込み方法

美幌峠の ダケカンバ

写真・文／鬼丸和幸



美幌峠は、美幌町を代表する景勝地の1つです。ここから望む風景は、「これぞ道東！」と思わせてくれる雄大なものです。眼下には屈斜路湖、遠くには阿寒や摩周の山並み、そして振り向くと、美幌町の街並みも、手に取るように見ることができます。

美幌峠頂上付近には、整備された遊歩道があり、夏の間は気軽に散策できますが、冬になると一面、雪と氷に覆われ、人を寄せ付けない状態となります。それでも、快晴の日など、歩くスキーをつけて、美幌峠稜線付近を歩くと、夏では見られない風景に出会うことができます。2月上旬、久しぶりに快晴になった休日に、重い腰を上げて、歩くスキーで美幌峠稜線を散策してみました。

この稜線上には、冬でないと見ることができない、立派なダケカンバの巨木があります。美幌峠レストハウスか

ら、歩くスキーを履いて40分ほど歩いた場所です。夏は背丈を超えるヤブでうっそうとしているため、その姿を見るのは大変なことなのですが、冬はササの上に雪が積もり、快適にこの場所へたどり着くことができます。

ダケカンバは、町内では、標高が高い山間部などで見ることができます。同じ仲間のシラカンバに較べ、「より標高が高い場所に生える」「木肌の色が濃い」「幹から枝が出ている付け根付近に、黒い“へ”の字模様がある」などの特徴があります。

2時間ほど経つと、急に雲が広がり雪が降ってきたので、急いで山を下りてきました。

02 GREEN COLUMN グリーンコラム

初代戸長 の ぎ き ま さ な が 野崎政長

写真／美幌博物館・文／八重柏誠



今年^こ年は美幌町行政の始まりと言える、戸長役場開場から130年の節目の年になります。先日、130年を記念したロゴマークも発表され、記念の年がやってきたと言う印象も強くなってきたところです。

当時の戸長役場は、現在の美幌町元町地区にあり、美幌外五ヶ村^{びほろほかごせんこちようやくぼ}戸長役場と呼ばれていました。美幌外五ヶ村とは、ヒホロ村・ケネタンヘ村・フレメム村・カツクミ村・タツコフ村・ポンキキン村のことで、美幌町と津別町にまたがる広大な範囲を指しているのは以前別のコラムでもお話しています。初代戸長は、野崎政長という人物でした。野崎政長は鹿児島県出身で、西南戦争に西郷軍の一員として参加していたそうです。北海道には明治13年に渡り、根室県の書記や紋別外九ヶ村戸長を経て、明治20年に美幌に赴任してきました。野崎政長は、おとなしい

性格をしていたと言ひ伝えられており、白いヒゲがトレードマークだったようです。明治24年には、村内のあちこちに散在していたアイヌの人たちを元町地区に集めて集落を作り、農作業を教えていたようです。明治36年に戸長役場が、現在の美幌警察署付近に移転することを機に、戸長という役職を勇退しました。野崎政長は勇退後も戸長役場に勤め、美幌のために尽力したそうです。明治43年に撮影された戸長役場職員の写真を見てみると、当時の戸長である阿部八十治^{あべやそじ}（写真 前列右から2番目）の隣に、野崎政長（写真 前列右端）が写っていることから、職員として働いていた様子がうかがえます。戸長の仕事を辞めた後も、元町地区で生活を続け、大正10年5月に亡くなりました。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253 - 4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/museum/index.html>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



3月も目の今日この頃、再びインフルエンザがやり出しました。町内の小学校では学年閉鎖にもなっています。娘が通う幼稚園では胃腸炎がはまっているようです。娘は案の定、病気をもらって具合が悪そう。インフルエンザも胃腸炎もこの時期特有の辛い病気ですね。(八重柏)